## 今月の PICK UP

### 『語学の天才まで1億光年』 高野 秀行／著 集英社インターナショナル 915.6 タ

「誰も行かないところへ行き、誰もやらないことをし、誰も書かない本を書く」というポリシー通り、これまで様々な辺境へと赴いてきた作者。その過程で学んだ言語は25を超えるといいます。

この本は、「初海外は大学時代のインド一人旅で、身ぐるみを剥がされて窮地を訴えるために思いがけず英語が上達した」という仰天エピソードから始まります。他にもフランス語やリンガラ語、イタリア語、スペイン語、タイ語、ビルマ語など、数々の言語学習における汗と涙の体験が詰まっています。時に言語について詳しく説明がありますが、作者曰く面倒なら読み飛ばしていいとのことで、肩ひじ張らずに楽しめる語学エッセイです。

## 司書のおすすめ

### 『生き物が大人になるまで 「成長」をめぐる生物学』 稲垣 栄洋／著 大和書房 463.9 イ

ペンギンのヒナはどうして大人のペンギンより大きいのか、昆虫にはなぜ成虫とは全く違う形の幼虫時代が必要なのか？ 農学博士の著者が、生き物が自ら成長する力について、また大人になるために必要な遊びと学びの関係など、生物が生きるために選んだ戦略をわかりやすく解説します。

### 『はじめてのひとり暮らし安心ガイド』 造事務所／編 メディアパル 590 ゾ

この時期、実家を出てひとり暮らしを始めるという人も多いのではないでしょうか。

本書には、部屋探しのコツやネットの活用方法、不動産屋との交渉術、賃貸契約書の見方や初期費用、引越しの段取りから手続き、防犯やトラブルへの対処法などが紹介されています。

新生活のスタートに役立つ事が、イラストや図で分かりやすく掲載されていますので、ゼロから部屋探しを始める方にお勧めします。

### 『ウェブスター辞書あるいは英語をめぐる冒険』 コーリー・スタンパー／著 鴻巣 友季子／（他）訳 左右社 833.1 ス

映画化もされた三浦しをんさんの小説『舟を編む』で、少し身近になった辞書編纂という仕事。本書では、アメリカで最も古い辞書出版社の編集者が、英語辞書の世界についてユーモアたっぷりに語ります。母語への愛情、辞書編纂への情熱、そして語義との悪戦苦闘は、海を隔てた彼の国でも同じ。英語やアメリカという国の辞書が抱える様々な事情についても、多くのトリビアとともに紹介されています。

### 『川っぺりムコリッタ』 荻上 直子／著 講談社 913.6 オ

２年の刑期を終え出所した山田は「ハイツムコリッタ」という一風変わった名前の古びたアパートで暮らし始めます。誰とも関わらずひっそりと過ごしたいという彼の思いとは裏腹に、ちょっと図々しく不器用ながらも温かいアパートの住人たちと、なかば彼らのペースに巻き込まれるように関わるようになります。タイトルのムコリッタとは、時間の単位を表す仏教用語の牟呼栗多のこと。読後、タイトルに込められた意味がわかると思います。